

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-519453 (P2004-519453A)  
【公表日】平成 16 年 7 月 2 日 (2004.7.2)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-025  
【出願番号】特願 2002-554134 (P2002-554134)  
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 47/46  
A 6 1 K 31/711  
A 6 1 K 35/74  
A 6 1 K 35/76  
A 6 1 K 39/00  
A 6 1 K 45/00  
A 6 1 P 29/00  
A 6 1 P 31/12  
A 6 1 P 35/00

【F I】

A 6 1 K 47/46  
A 6 1 K 31/711  
A 6 1 K 35/74  
A 6 1 K 35/76  
A 6 1 K 39/00 H  
A 6 1 K 45/00  
A 6 1 P 29/00  
A 6 1 P 31/12  
A 6 1 P 35/00

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 12 月 28 日 (2004.12.28)  
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

皮下、筋肉内、皮内または経皮投与する免疫原性核酸、とりわけ G p G - O D N、および / またはリポ多糖の炎症を引き起こす可能性を低減する \_ ためのポリカチオン性化合物の使用。

【請求項 2】

該投与する免疫原性核酸および / またはリポ多糖が抗原をさらに含む、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

該抗原が、ウイルス病原体または細菌病原体からの抗原、真核生物病原体からの抗原、腫瘍抗原、自己免疫抗原またはそれらの混合物よりなる群から選ばれる、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

該ポリカチオン性化合物が、ポリカチオン性ペプチド、好ましくは塩基性のポリペプチ

ド、ペプチド結合を含む有機ポリカチオン、またはそれらの混合物である、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の使用。

【請求項 5】

該ポリカチオン性化合物が、ポリリジン、ポリアルギニン、5 を超える、とりわけ 10 を超えるアミノ酸残基の範囲に 50 % を超える塩基性アミノ酸残基を含むポリペプチド、またはそれらの混合物である、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の使用。

【請求項 6】

該投与する免疫原性核酸および / またはリポ多糖が、イノシン含有 ODN (I - ODN) をさらに含む、請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の使用。

【請求項 7】

該投与する免疫原性核酸および / またはリポ多糖が局所的に作用する医薬またはワクチンとして投与される、請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の使用。

【請求項 8】

該投与する免疫原性核酸および / またはリポ多糖がさらに活性物質を含み、該活性物質が該ポリカチオン性化合物に対する親和性を有する、請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の使用。